

平成29年3月23日

各位

株式会社 紀陽銀行

【地方創生】新事業・研究開発支援事業  
**「平成28年度『紀陽イノベーションサポートプログラム』の採択企業を決定**  
 ～5社に対し事業化に向けた長期支援を実施します～

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、「地方創生」に向けた事業性分野の取り組みの一つとして、事業展開を目指し大学や研究機関等と共同研究を行う地域の事業者さまへのご支援を目的に、平成27年度より「紀陽イノベーションサポートプログラム」を実施しております。

今年度は、平成28年9月1日（木）から平成28年10月31日（月）まで募集を行い、合計17の事業者さまよりご応募をいただきました。ご応募いただいた研究開発テーマについて、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部や国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター等、技術面や市場について知識・経験が豊富な7名の外部専門家にて組織された評価委員会による評価に基づいて総合的に判断を行い、5社（和歌山県2社、大阪府3社）を採択いたしました。

なお、採択企業に対しましては、事業化・商品化に向けたサポートプログラム（支援計画）を策定いたします。今後、サポートプログラムを実施していく中で、研究成果や課題に応じ、当行が持つソリューション機能等を活用し、専門家等と協議しながら適切な支援メニューを提供いたします。

紀陽銀行では、地域事業者の皆さまと一体となって、地域経済の発展・成長と地域活性化に貢献し、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

記

「紀陽イノベーションサポートプログラム」概要（平成28年度は募集を終了しております）

対象となる方	当行営業エリア（和歌山県、大阪府、奈良県）内に本社もしくは事業所を置き、商品化や事業化を目指し大学・研究機関と共同研究を実施している法人または個人。
応募方法	当行所定の応募申請書に必要事項を記入し、共同研究の主体となる事業者より応募
評価	応募いただいた研究開発テーマについて、公的支援機関（中小機構近畿等）や有識者など第三者機関を中心に構成する評価委員会により、「革新性」「市場性」「実現可能性」「研究開発体制」等、総合的に判断。
支援内容	(1) サポートプログラムの策定 商品化・事業化に向けたサポートプログラム（支援計画）を策定。
	(2) 研究成果、研究ステージに応じた適切なサポートの実施 研究成果や課題に応じて専門家等と協議しながら適切な支援メニューを実施。
	(3) 研究奨励金の支給（1テーマあたり50～300万円（累計）） 採択時に原則50万円を支給（研究ステージに応じて増額する場合あり）。以降、サポートプログラム実施期間中は、年に一度、研究開発の進捗状況や成果の確認を行い、分割して段階的に支給（進捗状況確認時、研究奨励金の支給の可否及び支給額について決定）。

以上

平成28年度「紀陽イノベーションサポートプログラム」採択企業5社  
(50音順)

採択企業 (所在地)	研究開発テーマ	共同研究機関
紀和化学工業株式会社 (和歌山県和歌山市)	超臨界二酸化炭素を用いるポリエステル 及びポリプロピレン用染料の開発	福井大学
株式会社ステークホルダーコム (大阪府大阪市)	文書画像認識技術を利用した AR (拡張現 実) エンジンの開発	大阪府立大学
パワーアシストインターナショナル株式会社 (和歌山県和歌山市)	量産型パワーアシストスーツの研究開発	和歌山大学
株式会社松本機械製作所 (大阪府堺市)	高薬理活性製品遠心分離プロセスの完全 アイソレーション技術の開発	大阪府立大学
村上精機株式会社 (大阪府堺市)	小規模蒸気ロータリーエンジン用摺動部 素材の実用化開発	大阪府立大学